

園部好洋

14:35~15:30 司会 松本 勝(京都大学)

- (d) 風圧・空気力および構造物周りの風の流れ
 (e) 風による構造物の応答

(1) 非定常圧力特性から見た箱桁橋の渦励振制振対策の安定化効果

○宮田利雄(横浜国立大学)

山田 均 風間浩二 藤澤伸光

(2) 偏平構造断面柱の渦励振の数学モデルについて

○吉村 健(九州産業大学)

坂田正二 三宅昭春 小川富士夫

(3) 充腹断面の空力不安定現象に関する風洞実験における2, 3の考察

宇都宮英彦 長尾文明

○畠山圭司(徳島大学)

(4) 充腹断面の空力減衰に関する一考察

○小川一志(川崎重工業)

酒井洋典 松田一俊

一休憩10分—

15:40~17:00 司会 藤澤伸光(日本鋼管・中央研)

- (e) 風による構造物の応答 (f) 耐風設計

(1) 橋梁桁部, 主塔の空力特性と防振対策について
 白石成人 松本 勝 白土博通

○尾上義博(京都大学)

(2) ラーメン形式主塔の渦励振とその空力制振対策に関する基礎的研究

○武内隆文(住友重機械工業)

白石成人 松本 勝

(3) 乱流中における吊橋主塔の耐風安定性について
 成井 信 小川一志

○松田一俊(川崎重工業)

(4) サイドプレートの吊橋主塔制振効果に関する実験的考察

○井上浩男(三井造船・昭島研)

虫明英彦 平野廣和 池ノ内昌弘

(5) 渦励振の発生確率の迎角の変動を考慮した算法について

小松定夫○小林紘士(立命館大学)

川谷充郎 松川昭夫

(6) 名港西大橋の塔の動吸振器方式耐風制振装置

川人達男 辻 松雄

○加納 勇(日本鋼管・中央研)

津村直宜

閉会の辞 日本気象学会(次回幹事学会)

第23回国際地震学・地球内部物理学協会(IASPEI)総会について

標記の総会が、1985年8月19日~30日に、東京都新宿区京王プラザホテルに於て、地震学会と日本学術会議の共催の下に開かれます。現時点で予定されているシンポジウムとしては

1. Earthquake Hazard Assessment and Prediction
2. Seismological Theory and Practice
3. Structure and Composition of Active Margins in the Far East
4. Thermal Aspects of Tectonics
5. Polar Geophysics
6. Deep Structure of Oceanic Lithosphere as Determined by Ocean Bottom Seismographs
7. Mechanics of Earthquake Faulting
8. Strong Ground Motion
9. Discontinuities in the Earth's Structure in

Terms of Material Properties

10. Transport Phenomena in Relation to Structure of the Earth
11. Wave Propagation in Real Media
12. Reports on Recent Earthquakes
13. Seismological Instrumentation and Data Analysis in Developing Countries

等があります。

1st Circular は

〒107 東京都港区赤坂 8-5-32

赤坂山勝ビル内

株式会社 インターグループ気付

第23回国際地震学・地球内部物理学協会連

営委員会

宛に要求すれば入手できます。